

藤枝市教育委員会

令和 7 年 8 月 定例会会議録

藤枝市教育委員会 令和7年8月定例会会議録

1 開 催 日 令和7年8月7日

2 場 所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室

3 会議に附した事項 (別紙のとおり)

4 出 席 委 員 教 育 長 中村 穎
教育長職務代理者 永田 奈央美
委 員 永田 恵実子
委 員 福興 繁太郎
委 員 渡邊 博文

5 欠 席 委 員

6 出席した事務局職員 教 育 部 長 増井 孝典
教 育 政 策 課 長 金原 雅之
学 校 教 育 監 三須 貞佳
主 席 指 導 主 事 道越 洋美
学 校 給 食 課 長 村松 雅弘
生 涯 学 習 課 長 小西 ゆう子
図 書 課 長 杉本 守
総 務 係 長 目崎 真吾
書 記 石川 聰美

教育委員会 令和7年8月定例会

日 時 令和7年8月7日 午前9時30分
場 所 藤枝市役所西館5階 第2委員会室

1 開 会 午前9時30分

2 会議録署名委員氏名 永田奈央美委員、渡邊博文委員

3 日程第1

第15号議案 教育財産（教育用タブレット端末）の取得の申出について
第16号議案 令和7年度藤枝市教育委員会事業評価について

4 日程第2 諸般の報告

学校教育監 令和6年度藤枝市内児童生徒の問題行動等の状況について

主席指導主事 令和7年度藤枝市・白山市中学生オンライン交歓会について

生涯学習課長 宇宙教育教材「ルナクラフト」を用いた宇宙教育体験ワークショップの開催について

図書課長 藤枝市立駅南図書館・静岡福祉大学連携事業小泉八雲と防災～日本初の防災教材『稻むらの火』原作者～について

5 閉 会 午前10時20分

日程第1

第15号議案

教育財産（教育用タブレット端末）の取得の申出について

質疑

渡邊委員

教育政策課長

渡邊委員

教育政策課長

永田奈央美委員

教育政策課長

永田奈央美委員

教育政策課長

永田奈央美委員

教育政策課長

永田恵実子委員

予備機の台数の根拠はなにか。

予備機の台数は国からの補助金の基準で実必要数の最大15%まで対象となっているため、小中学校の実必要数から算出した。故障した際の代替品として使用するなど頻繁に必要になり、不足することもあったため、子どもたちの学習に影響が出ないようにするために妥当な数と考えている。

予備機はどのように管理していくのか。

契約予定業者であるソフトバンクと教育委員会事務局で管理していくことになる。

機種スペックの欄に容量などの細かいところも記載しておいた方がよいのではないか。

追加して記載する。

ソフトウェアなど中身についても教えてほしい。

スカイメニュークラウドの代わりにウィンバード社の授業支援ソフトを導入していく。協働学習や特別支援のアプリなども入れるよう検討している。最低限のアプリを入れて、運用しながら必要に応じてアプリを追加していきたい。

藤枝市は今までアプリを入れすぎていた印象がある。ドリルも教材管理もそれぞれ1種類のアプリで十分である。コラボノートも不要と考える。アプリを集約した方が汎用性が高まるので、今後一緒に考えていきたい。

現場の教員、ソフトバンク、教育委員会事務局で協議会を設けて選別していくようにしていきたい。また、その際には委員のご意見も伺いたいと考えている。

LTE通信が可能になり、このタブレットが様々なところで使えるようになると、個人情報の管理やデジタル社会における倫理

	観など、情報リテラシーが重要になってくる。そういうことの学びの場はあるのか。
教育政策課長	現在、ネットパトロールの委託もしているが、年30回ほど子どもたちを対象に情報リテラシーに関する講演を行っている。今後はさらに多くの保護者や教員にも対象に広げ、情報リテラシー向上の機会を設けていきたい。
討論	なし 可決
第16号議案	令和7年度藤枝市教育委員会事業評価について
質疑	
渡邊委員	特別支援教育支援員等活用事業と通級指導教室活用事業の違いはなにか。
学校教育監	特別支援教育支援員等活用事業は、支援員を配置し活用していく事業で、支援員は通常学級にいる特別な支援が必要な子どもへの支援をしたり、医療的ケアが必要な子どもへの支援をしたりしている。また、登校支援教室の指導員もこちらに該当する。 通級指導教室活用事業は通常学級に通っている子どもたちの中で週に1~3回程度、通常の授業時間に個々の特性に応じた学習を必要とする子どもたちが通う教室で、こちらにも指導員が配置されている。 どちらの事業もほとんどが人件費で構成されている。
渡邊委員	特別支援教育の方は身体的な特性を持つ子どもが多いのか。
学校教育監	身体的な特徴を持つ子どももいるが、集団生活への適応が難しいなど発達に特性を持った子どもたちの方が多い。
永田恵実子委員	藤枝市は特別支援教育支援制度が他の市では見られないほど充実している。そのうえで、子どもの自己肯定感を高めるような指導ができているかという評価をしていただきたいので、子どもたちの評価を聞く必要があると思う。
学校教育監	今回は事業評価委員のみに評価していただいたが、子どもたち、保護者からの意見も別の機会に受け入れながら進めている。

永田恵実子委員	小学校中学校とサテライト方式含めて切れ目のない支援ができるので、今後は幼児期からの聞き取りを行うなど、幼保こ小でつなげていただけると、保護者には心強いと思う。
学校教育監	幼児からの接続について、園との情報交換の機会もあったが、架け橋プログラムにも取り組み始めているので、来年度から支援員の勤務形態に変化を入れて、園とのつながりをサポートできるようにしていきたいと考えている。
永田恵実子委員	見えにくい障害の子どもたちがいるので、そこのつながりを強化すると早く発見できて、早期の対応をすることができる。
討論	なし
	可決

日程第2 諸般の報告 令和6年度藤枝市内児童生徒の問題行動等の状況について

福興委員	7ページ④問題行動関係グラフの小学校学年別問題行動数のグラフについて、小学校5年生が他学年に比べて件数も人数も多いがなにか理由があるのか。
学校教育監	いくつかの学校の特定の児童が同じような失敗を繰り返してしまっていると報告を受けている。
永田奈央美委員	7ページ④問題行動関係グラフについて、縦軸のメモリをそろえていただけだとわかりやすい。
学校教育監	様々なグラフを縮めて掲載しているのでわかりにくくなってしまった。今後はわかりやすくなるよう検討する。
永田奈央美委員	学習用タブレットはYouTubeを閲覧できないようにするなど様々な制限があるはずだが、トラブルが起きる理由はなにか。
学校教育監	件数は少ないが、他人のIDでログインてしまい、トラブルにつながったというようなことがある。
教育政策課長	教育用タブレットには様々な制限をかけているが、子どもの中にはその制限を乗り越える技量を持つ子どももいて、対応に苦慮している。新しい端末においても、端末提供業者であるソフトバンクに入ってもらいながらしっかり制限できるよう進めていく。また委員のご意見を伺いたい。

永田奈央美委員

教育用タブレットにおけるトラブルを0にしたいので、トラブルの内容について今後は詳しく教えてほしい。

永田恵実子委員

10 ページ④不登校の推移について、小学校では登校支援教室や適応指導教室の効果により人数が減っているようだが、中学校では少し増えている。学校に行かなくなることがきっかけで医療機関や発達支援機関につながるというケースがあるが、そこがうまく連携できていないために人数が減少しないのではないか。

学校教育監

現在、登校支援教室や適応指導教室の効果が出始めているところ。今後も活用し、不登校児童生徒数を減らしていきたい。学校では個別にアセスメントを行い、その後適切な場所へつなげられるよう取り組んでいる。また必要があれば医療機関にもつながりでいる。発達に課題を抱えた子どもが不登校になりやすい傾向にあるので、そういった視点でもアセスメントには力を入れている。

永田恵実子委員

11 ページのいじめの認知件数の推移についても、小学校の認知件数がとても増加している。発達や家庭の問題を抱える、医療機関とつながらなくてはいけない子どもがこの数字の中に隠れているかもしれない。そういう子どもへの対応をどうしているのか。

学校教育監

認知件数が増えたことに関しては、いじめの発生件数が増えたというよりは学校で丁寧な見とりができるとしている。不登校と同じようにアセスメントを大事にしていきたい。子ども発達支援センターと連携しながら、巡回相談を行ったり、発達検査につないだり、特性を持った子ども自身を見つめて、必要があればそういう機関につなげられるよう取り組んでいく。

令和7年度藤枝市・白山市中学生オンライン交歓会について

永田奈央美委員

静岡産業大学ではペンリス市と協定を結びたいと考えているので、大学生も巻き込んで交流ができたら面白いものになるのではないか。

教育政策課長

新しい英語教育や異文化交流につなげられるようご協力いただけたらありがたい。

宇宙教育教材「ルナクラフト」を用いた宇宙教育体験ワークショップの開催について

なし

藤枝市立駅南図書館・静岡福祉大学連携事業小泉八雲と防災～日本初の防災教材
『稻むらの火』原作者～について

なし

閉会　午前10時20分